

子どもの貧困の連鎖を断つ

小学生の子どもの居場所づくりを手始めに、生活困窮世帯の中学生の学習の支援を行い、高等学校等の卒業まで切れ目なく支援することで、就労・進学へ繋いで、貧困の連鎖を断つ

就労・進学への道を拓く

(STEP1)

子どもの居場所づくり

- 小学生の内から社会的な居場所づくり等で支援し、学習の支援につなぐ

(STEP2)

学習の支援

- 生活困窮世帯の中学生に学習支援等を行い、高等学校等進学につなぐ

(STEP3)

修学の支援

- 修学支援金や高等学校等入学後も相談や支援を行い、就労・進学につなぐ

就
労
・
進
学

教育の支援

就学の援助、学習の支援、
その他子どもの教育に関する支援

生活の支援

保護者の生活に関する支援、
子どもの生活に関する支援など

保護者に対する就労の支援

保護者への職業訓練への支援、就職の相談、
その他自立を図るための就労支援

経済的支援

各種手当等の支給など経済的支援

「子どもの貧困の連鎖を断つ」ための取組

(現状と課題)

○市内各部署において、ひとり親世帯の支援や生活困窮世帯への支援など、子どもの貧困対策に関する事業を実施している。また、その事業を国・県等の計画に合わせて体系化し、事業の把握をしている。

- ・教育の支援・・・・・・・・児童生徒就学援助事業、母子父子寡婦貸付（修学資金）など
- ・生活の支援・・・・・・・・生活困窮者自立支援事業、小児医療費助成事業など
- ・保護者の就労の支援・・・・高等職業訓練促進給付金等支給事業、就労支援事業など
- ・経済的支援・・・・・・・・児童扶養手当、児童手当など

○子どもの6人に1人が貧困世帯で暮らしており、貧困が子どもの将来を左右すると言われている。中でも、貧困で学力不足に陥り進学や就職で困難となるケースが少なくなく、世代を越えて貧困が連鎖することのないようにする必要がある。

(より強かに推進するために)

○取組のコンセプトの共有 ⇒ 「子どもの貧困の連鎖を断つ」

○このため、現在行っている4つの支援を土台に、就労・進学への道を拓く。

⇒ 小学生の子どもの居場所づくりを手始めに、中学生の学習の支援を行い、高等学校等の卒業まで切れ目なく支援することで、就労・進学へ繋いで、貧困の連鎖を断つ

○STEP1（子どもの居場所づくり）

社会的な居場所づくり、中学生からの学習支援参加への意識づけ

○STEP2（学習の支援）

中学1年生からの生活困窮世帯等へ学習支援を実施

○STEP3（修学の支援）